



【風しん追加的対策】定期予防接種対象の方へ

<風しんについて>

風しんウイルスの飛沫感染によって起こります。潜伏期間は、2～3週間です。軽いかぜ症状ではじまり、発疹、発熱、後頸部リンパ節腫脹などが主な症状です。

発疹も熱も約3日間で治るので「三日ばしか」と呼ばれることがあります。合併症として、関節痛、血小板減少性紫斑病、脳炎などが報告されています。大人になってからかかると重症になることがあります。

妊婦が妊娠早期に風しんにかかると、先天性風しん症候群と呼ばれる先天性の心臓病、白内障、聴力障害、発育発達遅延などの障害を持った赤ちゃんが生まれることがあります。

<予防接種について>

【対象者】 風しんの抗体検査を受けた結果、「抗体価が不十分」だった人

【持ちもの】 クーポン券、身分証明書、抗体検査結果

【接種回数】 1回

※ 予防接種済証を保管するなど、接種日を記録しておきましょう。

【ワクチン】 MR（麻しん風しん混合）ワクチン

予防接種を受けることで、95%以上の方が免疫を獲得できます。

【MR（麻しん風しん混合）ワクチンの副反応】

主な副反応では、発熱、発疹、じんましん、咳、リンパ節腫脹などがあり、稀に生じる重大な副反応は、アナフィラキシーショック、急性血小板性紫斑病などがあります。

◎次の人は接種を避けましょう

- ① 明かな発熱のある人(通常は37.5℃を超える場合)
- ② 重篤な急性疾患にかかっているのが明らかな人
- ③ 接種の3か月以内に輸血またはガンマグロブリン製剤の注射を受けた人
- ④ このワクチンの成分(卵、牛乳など)によって、アナフィラキシーという重いアレルギー反応を起こしたことのある人
- ⑤ その他、かかりつけの医師に予防接種を受けないほうがよいといわれた人



◎次の人は接種前に医師にご相談ください

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患などの基礎疾患のある人
- ② 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性発疹などのアレルギーを疑う症状のみられた人
- ③ 過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことがある人
- ④ 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある人、または近親者に先天性免疫不全症の者がいる人
- ⑤ このワクチンの成分に対してアレルギーをおこすおそれのある人
- ⑥ その他、心配なことのある人



◎接種後は以下の点に注意してください

- ① 予防接種を受けた後30分間くらいは、急な副反応が起こることがあります。医師とすぐに連絡がとれるようにしておきましょう。
- ② 予防接種を受けた日は、入浴しても差し支えありません。接種部位を擦り過ぎないようにし、清潔に保ってください。
- ③ いつもどおりの生活をし、はげしい運動は避けてください。
- ④ 予防接種をした部位が赤くなったり、腫れたり、痛んだり、軽い発熱などが起きることがあります。日常生活に差し支えるほどではなく、通常1～2日で消失します。もし、注射部位の異常反応や体調の変化さらに高熱、けいれん等の異常な症状が生じた場合には、速やかに医師の診察を受けてください。

◎予防接種の健康被害補償について

予防接種による健康被害が生じた場合は、「予防接種健康被害救済制度」などによる救済制度の対象となる場合があります。

予防接種を受けた後、万一、具合が悪くなったら、医師に相談しましょう。診察の結果、予防接種による健康被害が疑われた場合は、保健センターにもご連絡をお願いします。